

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月8日

上場会社名 ジーエルサイエンス株式会社
 コード番号 7705 URL <http://www.gls.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 森 憲司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 高橋 良彰
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

TEL 03-5323-6633

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	10,621	△15.1	△173	—	△181	—	△224	—
21年3月期第3四半期	12,515	—	258	—	160	—	△171	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△43.70	—
21年3月期第3四半期	△31.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	21,550	13,777	56.6	2,377.10
21年3月期	21,421	14,290	59.1	2,455.33

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 12,194百万円 21年3月期 12,659百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	45.00	45.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

平成22年3月期の配当予想額につきましては、本日発表の「平成22年3月期 配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,088	△7.6	7	△97.6	△43	—	△134	—	△26.15

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 5,595,000株 21年3月期 5,595,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 464,831株 21年3月期 439,131株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 5,131,091株 21年3月期第3四半期 5,508,291株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成21年11月6日発表の連結業績予想を修正しております。上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

上記予想に関する事項は、添付資料の4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、世界的な金融危機に端を発した景気後退の局面から、一部では持ち直しの動きが見られたものの、円高の進行による輸出企業の業績の悪化や、国内のデフレ基調が鮮明となり、雇用情勢の悪化や個人消費も低迷するなど依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような経営環境の下、当社グループでは、第3四半期連結会計期間において、半導体事業が順調に回復傾向にあるものの自動認識事業の業績は落ち込みました。主力の分析機器事業では、市場の回復の遅れから、販売価格の低下・販売数量の減少により苦戦が続く中、コストの削減に向けた取り組みを重点的に行いましたが、第2四半期連結累計期間の売上減少をカバーするまでには至りませんでした。

この結果、当社グループの第3四半期連結累計期間の売上高は10,621百万円（前年同期比 15.1%減）となりました。

利益面につきましては、第3四半期連結会計期間は黒字決算となりましたが、第2四半期累計期間の損失を払拭するまでには至らず、営業損失は原価低減や諸経費の削減を行ったものの173百万円（前年同四半期は営業利益258百万円）、経常損失は 181百万円（前年同四半期は経常利益160百万円）、四半期純損失は 224百万円（前年同四半期は四半期純損失171百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの概況は次のとおりであります。

(分析機器事業)

国内市場での分析機器市場は若干の回復基調を示すものの、海外市場での取引は円高により鈍く、第2四半期と同様に依然として厳しい状況で推移しました。

このような中、分析機器事業におきましては、第2四半期に引き続き「イナートファミリーシリーズ」をはじめとする自社製品の拡販活動を積極的に展開いたしました。

消耗品につきましては、官公庁での補正予算獲得の動きなどが例年より早く出始め、LC充填カラムやGC分析用キャピラリーカラム、無機消耗品等自社消耗品などの一部では前年同四半期を上回る売上となりました。

装置につきましては、平成21年11月30日付けで、環境省から水質汚濁に係る環境基準の改定が告示され、ページ&トラップ濃縮導入装置「AQUA PT 5000J」の引き合いが活発化するなど、水分析関連の売上は増加しましたが、バイオ自社装置や高額なLC-MS/MSなどが低迷し、第2四半期に続き大きく減収となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は 7,585百万円（前年同四半期比 15.5%減）、営業損失は 28百万円（前年同四半期は営業利益343百万円）となりました。

(半導体事業)

半導体業界におきましては、各国政府の消費刺激策が寄与し、パソコンやデジタル家電など個人向け製品の需要増が新興国を中心に堅調に推移しました。

半導体事業におきましては、第2四半期に引き続き受注が好調に推移して、当第3四半期連結会計期間での受注高は第2四半期連結会計期間と比較し7.5%増加し、第3四半期連結累計期間の受注高は、3,211百万円（前年同四半期比22.9%増）となりました。

第3四半期連結会計期間での売上高は、シリコン製品が373百万円(前年同四半期比163.0%増)、石英製品が700百万円(前年同四半期比13.1%増)と第2四半期と比較しても24.7%増と急回復し1,101百万円(前年同四半期比38.1%増)となりました。

営業損益につきましては、売上高の増加や固定費の削減効果により、第2四半期連結会計期間の23百万円の営業損失から、第3四半期連結会計期間は営業利益31百万円と黒字体質に転換し、赤字幅は縮小しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は 2,572百万円（前年同四半期比 16.2%減）、営業損失は 143百万円（前年同四半期は営業損失74百万円）となりました。

(自動認識事業)

自動認識事業におきましては、アクセスコントロール市場（機械装置によるビル警備や勤怠管理など）をターゲットとした営業を強化し、セキュリティに対する多様化・高度化する社会のニーズに応え、事業の拡大に努めてまいりました。しかしながら、予想以上に市場回復が遅く不調に終わりました。

システム部門では、「入退室管理システム」の新規顧客開拓による基盤の拡充は見られたものの、設備投資抑制の影響が大きく、さらに新規業者参入による競争も激化し、既存システムの増設やリプレイス、メンテナンスなど小規模な売上にとどまり前年同四半期を大きく下回りました。

デバイス部門では、FeliCaとmifareの2つの通信方式を読み書きできる規格をもち合わせた「NFCシリーズ」は、好調に推移しましたが、FeliCa単体やmifare単体の単一通信方式は不調に終わり、前年同四半期には及びませんでした。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は463百万円（前年同四半期比1.1%減）、営業損失は3百万円（前年同四半期は営業損失10百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ128百万円増加し21,550百万円となりました。負債は、短期借入金の増加などにより、641百万円増加し7,773百万円となりました。また、純資産は、利益剰余金の減少などにより、512百万円減少し13,777百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末の1,649百万円から517百万円増加し2,166百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の減少額211百万円などにより、809百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出342百万円などにより、560百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加額1,125百万円、長期借入金の返済による支出579百万円などにより、271百万円の収入となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、平成21年11月6日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳しくは、本日別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

当社グループのテクノクオーツ株式会社には、前連結会計年度から「売上高の著しい減少」及び「継続的な営業損失の発生」という重要事象等が存在しておりました。そのため、それら事象等を解消するための対応を行い、継続企業の前提に関する重要な不確実性は存在しないことを記載してまいりましたが、当期に入り受注は急速に回復し、その後も順調であります。受注増加に伴い、売上高も増加し、固定費の削減効果もあって8月以降は営業利益を確保できる体制となりました。

また、現状の受注環境などから、今後も採算ラインを上回る売上高を確保できるものと思われること、さらには資金繰りも安定しており、第2四半期連結会計期間末まで存在していた継続企業の前提に関する重要な疑義は解消されております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,892,091	3,148,967
受取手形及び売掛金	4,794,049	4,928,237
商品及び製品	1,095,032	1,254,827
仕掛品	1,258,577	1,182,286
原材料及び貯蔵品	1,050,343	1,177,039
その他	251,128	271,953
貸倒引当金	△13,093	△14,174
流動資産合計	12,328,130	11,949,138
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,957,007	2,893,799
土地	3,300,421	3,300,421
その他(純額)	1,579,128	1,864,665
有形固定資産合計	7,836,558	8,058,887
無形固定資産		
	89,335	92,843
投資その他の資産		
その他	1,322,461	1,352,292
貸倒引当金	△25,657	△31,169
投資その他の資産合計	1,296,804	1,321,122
固定資産合計	9,222,697	9,472,852
資産合計	21,550,827	21,421,990

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,107,542	2,043,892
短期借入金	2,959,540	1,871,165
未払法人税等	18,760	144,976
賞与引当金	141,373	322,436
その他	519,672	320,806
流動負債合計	5,746,889	4,703,276
固定負債		
長期借入金	1,253,291	1,797,887
退職給付引当金	131,434	66,745
役員退職慰労引当金	239,484	237,163
負ののれん	4,148	4,990
その他	397,931	321,455
固定負債合計	2,026,290	2,428,243
負債合計	7,773,179	7,131,519
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,207,795	1,207,795
資本剰余金	1,819,711	1,819,711
利益剰余金	10,143,562	10,599,796
自己株式	△508,890	△481,812
株主資本合計	12,662,178	13,145,491
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△17,790	△93,211
繰延ヘッジ損益	△63,047	△13,094
土地再評価差額金	△346,316	△346,316
為替換算調整勘定	△40,118	△33,484
評価・換算差額等合計	△467,272	△486,106
少数株主持分	1,582,741	1,631,086
純資産合計	13,777,648	14,290,471
負債純資産合計	21,550,827	21,421,990

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	12,515,883	10,621,305
売上原価	8,684,583	7,397,902
売上総利益	3,831,299	3,223,403
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,051,943	1,043,765
賞与引当金繰入額	64,658	72,890
貸倒引当金繰入額	22,876	—
退職給付引当金繰入額	66,551	124,116
役員退職慰労引当金繰入額	14,707	14,665
その他	2,351,734	2,141,748
販売費及び一般管理費合計	3,572,471	3,397,186
営業利益又は営業損失(△)	258,828	△173,783
営業外収益		
受取利息	6,575	5,455
受取配当金	12,088	6,736
為替差益	—	2,310
負ののれん償却額	280	842
受取保険金	20,896	26,043
助成金収入	—	15,532
持分法による投資利益	—	8,527
その他	26,199	16,080
営業外収益合計	66,040	81,527
営業外費用		
支払利息	51,469	45,910
為替差損	49,394	—
為替予約評価損	46,241	29,717
持分法による投資損失	1,628	—
その他	15,547	14,020
営業外費用合計	164,281	89,647
経常利益又は経常損失(△)	160,587	△181,903
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	937
特別利益合計	—	937
特別損失		
固定資産売却損	263	—
固定資産除却損	3,779	7,228
投資有価証券売却損	115	—
投資有価証券評価損	34,244	111,973
たな卸資産評価損	273,272	—
割増退職金	—	3,461
その他	2,000	1,000
特別損失合計	313,674	123,663
税金等調整前四半期純損失(△)	△153,087	△304,629

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
法人税、住民税及び事業税	22,692	18,171
法人税等調整額	157,841	△47,231
法人税等合計	180,533	△29,060
少数株主損失(△)	△161,951	△51,348
四半期純損失(△)	△171,669	△224,220

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△153,087	△304,629
減価償却費	580,562	536,071
負ののれん償却額	△280	△842
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△235,448	△181,063
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	22,869	△6,593
受取利息及び受取配当金	△18,663	△12,191
支払利息	51,469	45,910
割増退職金	—	3,461
売上債権の増減額 (△は増加)	761,672	134,738
たな卸資産の増減額 (△は増加)	350,455	211,230
仕入債務の増減額 (△は減少)	△196,436	88,436
その他	99,681	472,915
小計	1,262,794	987,445
利息及び配当金の受取額	17,289	10,606
利息の支払額	△47,123	△45,675
割増退職金の支払額	—	△3,461
法人税等の支払額	△178,245	△138,958
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,054,714	809,954
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,169,511	△1,640,298
定期預金の払戻による収入	1,128,390	1,414,452
有形固定資産の取得による支出	△536,009	△342,121
有形固定資産の売却による収入	326	15
無形固定資産の取得による支出	△9,557	△16,522
投資有価証券の取得による支出	△42,129	△34,428
投資有価証券の売却による収入	1,278	—
貸付けによる支出	△3,800	△8,040
貸付金の回収による収入	9,739	5,208
その他	△13,454	60,888
投資活動によるキャッシュ・フロー	△634,727	△560,846
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	443,267	1,125,332
長期借入れによる収入	550,000	—
長期借入金の返済による支出	△519,953	△579,987
自己株式の取得による支出	△115,898	△27,078
子会社の自己株式の取得による支出	△30,332	—
リース債務の返済による支出	—	△14,629
配当金の支払額	△250,053	△231,957
少数株主への配当金の支払額	△26,942	△401
財務活動によるキャッシュ・フロー	50,087	271,278
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,073	△3,109
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	487,148	517,278
現金及び現金同等物の期首残高	1,163,580	1,649,652
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,650,729	2,166,931

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

(単位：千円)

	分析機器事業	半導体事業	自動認識事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	8,976,812	3,070,717	468,353	12,515,883	—	12,515,883
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	262	77,410	—	77,673	(77,673)	—
計	8,977,074	3,148,128	468,353	12,593,556	(77,673)	12,515,883
営業利益又は営業損失(△)	343,964	△ 74,547	△ 10,400	259,016	(188)	258,828

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

(単位：千円)

	分析機器事業	半導体事業	自動認識事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	7,585,925	2,572,351	463,029	10,621,305	—	10,621,305
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	4	57,665	—	57,669	(57,669)	—
計	7,585,929	2,630,016	463,029	10,678,975	(57,669)	10,621,305
営業利益又は営業損失(△)	△ 28,018	△ 143,914	△ 3,744	△ 175,677	1,894	△ 173,783

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

(単位：千円)

	北 米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高	651,996	483,526	236,248	1,371,771
II 連結売上高	—	—	—	12,515,883
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	5.2	3.9	1.9	11.0

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

(単位：千円)

	北 米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高	632,871	929,497	195,089	1,757,458
II 連結売上高	—	—	—	10,621,305
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	6.0	8.8	1.7	16.5

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。